

# StepWGN シフトインジケータ インストールマニュアル

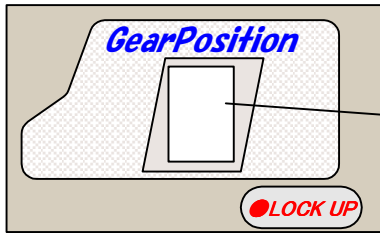
## Step-2 GF-RF1,2用

「シフトインジケータ」をご用命頂きまして、ありがとうございます。  
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。  
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

2001/10 M相良

### 取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。  
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
  2. エアバックが標準装備されている場合。  
センサーが活着している間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり非常に危険を伴います。  
  
※必ず BATTのマイナス端子を外し。3分以上待ってから作業して下さい。
  3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と一緒の作業をお勧めします。
  4. 個人的にお分けする物です。製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、いっさいありません。その分、お安いと言うことでご理解下さい。  
  
※誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ交換をいたしますので、ご連絡下さい。
  5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)
- ◎上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の責任の範囲内とさせていただきます。  
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。



### 「シフトポジション表示部」

数字で 1-4が表示されます  
ATが Dの時のみ表示されます  
また、表示の右下の ・ はロックアップ中  
の表示です。

### 内容の確認

1. ユニット本体。  
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。  
赤・黒・白・黄・青・橙 の6本の線が出ています。  
中間に中継コネクタが付いています。  
赤のコードにヒューズが付いています。 1Aです。
2. インジケータ部  
黒のプラケースに、LEDが組み込まれています。  
※ 1-2は シールド線で接続されています。
3. ワンタッチカプラ 4個

### 別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 1本  
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合  
電源取り出しKITが必要です。  
※用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。  
(10A用)  
ヒューズBOX内 No.28から取り出します。  
※他にACC+12Vを取り出す箇所をお持ちの場合、そちらに  
準じた物を使用して下さい。

### 必要な工具

1. プラスドライバ  
・フロントロアパネルを外すために使用
2. プライヤー  
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
3. 10mmソケットレンチ等  
アースを取り付けるために使用

## 取り付け手順

### 1. センターコンソールの取り外し

- (1) カップホルダ部分のセンターコンソールを取り外します
- (2) ハンドル下のパネルを取り外します

<http://www.skai.co.jp/swmech/index.html>

のページから、ちっちさんの取り付け事例へリンクしています。

詳しい、パネルの脱着等の解説が有ります

「シフトインジケータの項を参照してください」

### 1. インジケータ部の取り付け

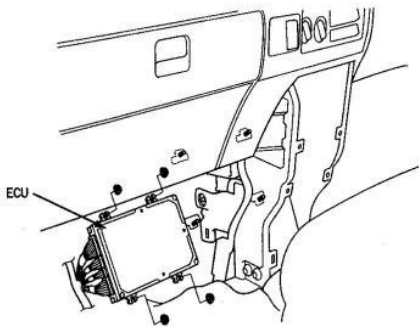
- (1) メーターパネルのじゃまにならない位置へ、両面テープなどで取り付けます

### 2. ECUとメインユニットの接続

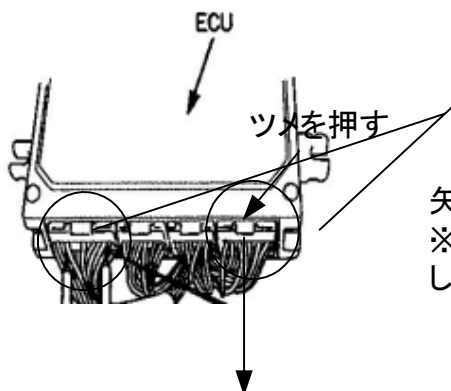
メインユニットの信号線(4本)を ECUのカプラにワンタッチコネクタを使用して、接続します。

### 3. 電源の取得

- (1) ACC+12Vを接続します
- (2) ボディーアースを接続します



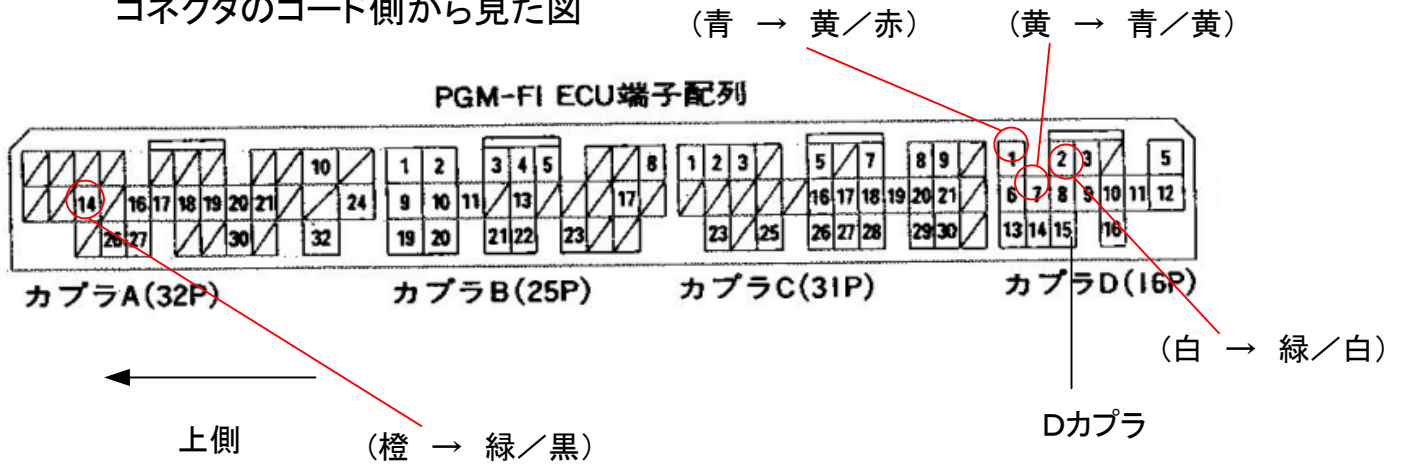
ECUの位置を確認して下さい。



このカプラを引き抜きます(A, D)

矢印の方向に、上部のツメを押しながら抜いてください。  
※上下がじゃまな場合、上から順番に抜いてしまうと楽かもしれません。

## コネクタのコード側から見た図



### (1) Dカプラに接続

- ◎黄(シフトSOLA) - ECU Dカプラ 7(青/黄)
- ◎白(シフトSOLB) - ECU Dカプラ 2(緑/白)
- ◎青(ロックUPA) - ECU Dカプラ1(黄/赤)
- ◎橙(ATPOS D) - ECU Aカプラ14(緑/黒)

ユニットの配線を、ECUのカプラのハーネスに接続します。

このとき、ワンタッチカプラを使用します。

ハーネスは、黒いテープで巻いてあるので、少し剥がした方が、取り付けしやすいです。

ここの接触不良、配線間違いがあると、正しく表示が出ません。(要注意)

―――重要な注意―――

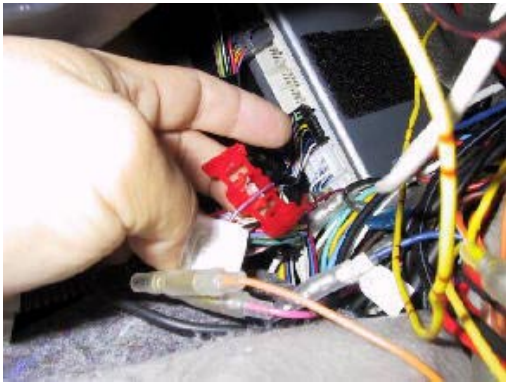
保護テープを剥がす時、カプラで割り込ませる時、十分注意してください。

いい加減な作業で、ECUのハーネスを切断したり、破損したりすると、最悪の状況になります。

この点がきちんと出来ないおそれが有る場合、取り付け自体をあきらめてください。

※このトラブルを含め、問題が発生しても、責任は取れません。

この点だけは、ご了承下さい。



## ワンタッチカプラの使用例



### ワンタッチカプラの使用法

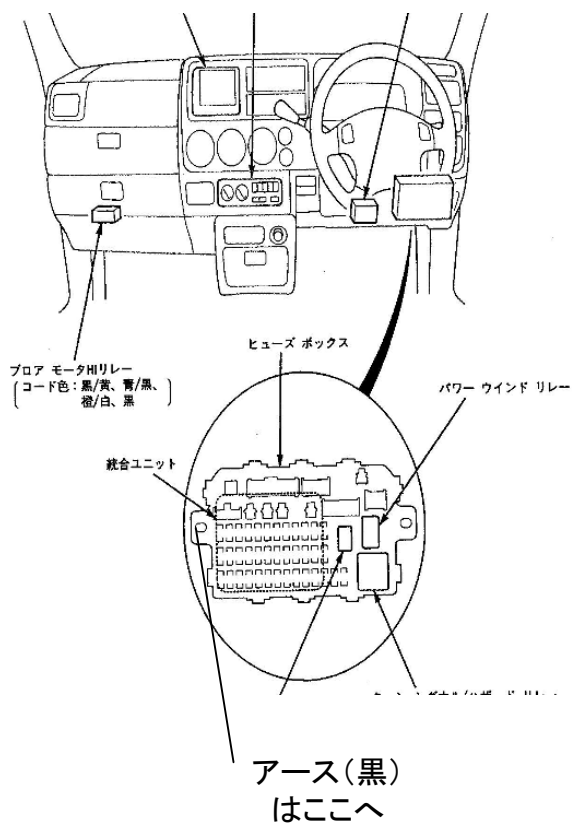
・ワンタッチカプラは、配線の割り込みに使用します。

1. 溝が左右に切つてある方に、元の配線をかませます
2. プライヤーで、片側をかしめます。
3. 割り込ませる配線をもう一方にかませます。
4. しっかり、かしめて 完了。

※ 黄色の配線が、ECUのハーネス  
青の配線が ユニットの配線  
に相当します。

※ 非常に手を入れずらい、狭いところでの作業になりますが  
コードを斜めに挟んでしまったり、プライヤーで挟んで  
しまったりなど、十分 注意しましょう。

※ ここで、元のハーネスを切断等してしまうと  
走行不能になるおそれもあります。  
十分、注意してください。



電源は、ヒューズBOXから、取り出しケーブルを使用するのが一番簡単です。

※ヒューズ取り出しKITはホームセンターや用品店で入手できます。

10A用を使用します。

・No28のヒューズと差し替えて使用します。

・アースは、ヒューズBOXの左側のボルトに供締めすれば、OKです

これで、取り付けは完了！  
あとは、動作確認だけです。

### 「動作チェック」

1. エンジンを始動。

2. Dレンジで走行し、変速に合わせて表示が変われば 接続はOKです。

※表示が変な場合、まず ECUへの接続が正しいか確認してください。

3. 数字の右下の . は ロックアップ中の表示です。

※ロックアップとは ATのトルクコンバータを直結することで、巡航時などでの駆動のロスなどを減らす目的が有ります。

燃費の向上や、ドライバビリティ(加速時、減速時のダイレクト感)の向上が計れます

※ロックアップは水温が低い場合は働きません。

4. 確認

・Dレンジ以外では、一瞬 2, 3等の表示が出ますが、正常です

・停止時に 2レンジを表示することが有りますが、正常です

――― トラブルシューティング ―――

ユニットは、出荷前に動作チェックを行っています。  
もし、動作がおかしい場合、まず 正しく接続されているかを、十分確認願います。

「「 動作チェック 」」

1. 全く表示しない

- ・ACCへの接続は正しいですか
- ・GNDの接続は正しいですか  
※特に、GNDの接続不良は原因になりやすいです。
- ・ユニットの赤線に黒いヒューズBOXが付いていますねじると、1Aのヒューズが入っています。切れている場合、入れ替えてください。再度切れてしまう場合、配線の確認をしてください

2. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 正しく表示されていない。

- ・黄、白 線の接続を確認します

4. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 全く表示されていない。

- ・黄、白、橙 線の接続を確認します

5. ロックアップの表示が出ない

水温が上がってもロックアップ表示されていない。

- ・青 線の接続を確認します

※ 次の状況は正常です。

- ・走行後、停車時に 2速の表示が出ている(ただし、走り出せば1速になる)
- ・Pレンジ、Rレンジ、Nレンジ で一瞬 2, 3の表示が出る
- ・減速時 4から 3に表示が変わった (プロスマティックの機能でシフトダウンしてます)

「「「 すべて確認しても おかしい場合 」」」

- ・白のカブラを外して、ユニットを送付して頂き、確認をします。

「「「 万一、走行に支障が出た場合 」」」

カブラを外してください、ユニットは完全に切り離されます。  
それでもおかしい場合、ECUへの割り込み配線時のトラブルがあり得ますが、  
その場合、問題は深刻です。ディーラー等で ECU周りのチェックが必要です。

このユニットから ECUに対して 出力はしていません。  
電圧のモニタをしているだけですので、接続により ECUに負荷が掛かりトラブルを起こすことは有りません。

ただし、厳密に言うと メーカーによる保証外の用品取り付けと言えるので、その点だけはご了承下さい。